

令和7年度 学校関係者評価報告書

令和7年度自己点検・自己評価項目に添い、学校関係者評価委員に本校の自己点検結果について採点と講評をいただきました。
その結果一覧について以下に公表いたします。なお数値化された採点の評価基準については以下の通りです。
〔 4 = 適切 / 3 = ほぼ適切 / 2 = やや不適切 / 1 = 不適切 〕

◆基準 1 教育理念・目的・育人人材像

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
1-1	学校の理念・目的・育人人材像は定められているか (専門分野の特性が明確になっているか)	4	4	4	4
1-2	学校における職業教育の特色は明確になっているか	4	4	4	4
1-3	学校の理念・目的・育人人材像・特色などが学内外に周知されているか	4	4	4	4

評 価 学 校 委 員 関 係 者 意 見	
---	--

◆基準 2 学校運営

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
2-1	教育理念や目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	4	3.6
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4	3	4	3.6
2-3	運営組織や意思決定システムは、整備されているか、有効に機能しているか	4	3	4	3.6
2-4	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	4	3.6

評 価 学 校 委 員 関 係 者 意 見	
---	--

◆基準 3 教育活動

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
3-1	学科等のカリキュラムは教育理念・目的・育成人材像に沿って、体系的に編成されているか	4	4	4	4
3-2	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4	4	4	4
3-3	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	4	4	4
3-4	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	4	3.6
3-5	成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3	4	4	3.6
3-6	目標資格の取得に関する指導体制は整っているか	4	4	4	4
3-7	教育目標を達成するために必要となる教員を確保しているか	3	4	4	3.6
3-8	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	4	4	4
3-9	授業評価の実施・評価体制はあるか	4	4	4	4

評価 学校 委員 関係 意見	①教員の不足と記載されているが、問題はないのか。 【学内委員による回答】柔道整復師科、日本語学科、応用日本語学科、教員養成学科それぞれ教員の数に余裕があるわけではないが配置基準を満たす人数は確保できており、運営上の問題はない。鍼灸師科に関しては本来7名の体制をとるべきところ、本年3月末で退職者が1名出たため、現在は6名での運営となっている。しかしながら授業、労働時間含め学校運営上は問題ない。現在も教員の補充に向けてホームページでの募集や外部の先生へのお声がけも含めて募集を継続している。
----------------------------	---

◆基準 4 学修成果

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
4-1	就職率の向上が図られているか	4	4	4	4
4-2	資格取得率の向上が図られているか	4	4	4	4

評価 学校 委員 関係 意見	
----------------------------	--

◆基準 5 学生支援

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
5-1	就職および進学に関する支援体制は整備されているか	4	4	4	4
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか	3	3	4	3.3
5-3	退学率の低減が図られているか	3	3	4	3.3
5-4	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	3	3	4	3.3
5-5	学生の健康管理を担う体制はあるか	3	4	4	3.6
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか	3	3	4	3.3
5-7	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	4	3.6
5-8	保護者と適切に連携しているか	4	4	4	4
5-9	卒業生への支援体制はあるか	4	2	4	3.3

評価 学 校 委 員 関 係 者 意 見	①スクールカウンセラーの導入は進めているのか。 【学内委員による回答】常駐型のカウンセラーについては本校の学校規模や学生の登校時間に対して適切か現在検討している段階である。一方で導入に向けて具体的に検討が進んでいる施策として、姉妹校において導入・運用の実績があるオンラインによるスクールカウンセラーがある。こちらについては、令和8年度中、または令和9年度からの導入を見込んでいる。
	②退学率の低減のための取り組みはしているのか。また、過去の退学者データなどから退学に至る傾向のある学生の分析・把握などは行っているのか。 【学内委員による回答】退学者低減に向けた取り組みとしては、担任制を導入し、学生に変化や問題が生じた際には担任が直接対面での対話・面談を行う体制を構築している。日本語学科および応用日本語学科においてはオンラインのビデオ面談を活用し、学生・保護者・通訳・担任での四者面談を実施している。 また、退学につながりやすい学生の傾向としては、将来の明確なキャリアプランを持たずに入学した学生において、退学に至る傾向が強いと分析している。
	③学友会について、今年度の学友会主催の卒業パーティの開催はどのようになっているのか。 【学内委員による回答】令和7年度については学友会主催で実施された。

◆基準 6 教育環境

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3	4	4	3.6
6-2	防災安全管理に関する体制は整備されているか	3	4	3	3.3
6-3	学外の実習、海外研修等について十分な教育体制を整備されているか	4	3	4	3.6

評価 学 校 委 員 関 係 者 意 見	
---	--

◆基準 7 学生の募集と受入れ

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか	4	2	4	3.3
7-2	入学選考は適正に行われているか	3	3	4	3.3

評価 学 校 委 員 関 係 者 の 意 見	①学生の募集、入学選考は適正に行われているのか。 【学内委員による回答】募集活動については、今年度より新たに体制の強化を行い、学校法人本部広報部門が主導するグループ校合同の会議等を通じ、多様な事例を参考にしながら適切な活動を展開している。 また、入学選考についても、大阪府専修学校各種学校連合会が定めるAO入試のエントリー期間および願書受付期間のガイドラインを遵守して実施しており、適切な運用を行っている。
	②学生獲得に向けて各学科の特色として打ち出している方針や強みはあるか。 【学内委員による回答】学校全体の特色としては、充実した実技授業やゼミを通じて資格取得に留まらないスキルを習得できる点、平日5日のみの登校で通いできる点、および高い国家試験合格率が挙げられる。 各学科における具体的な特色については、柔道整復師科においては臨床実習の充実に加え、外部講師による実技授業を展開している点を強みとしている。また、鍼灸師科においては、美容鍼灸等に精通した教員が在籍している点、医療資格である柔道整復師や鍼灸師を持つことでキャリア上の優位性について説明を行っている。さらに教員養成学科では少人数制の募集定員であることを活かした丁寧な指導を強みとしており、日本語学科および応用日本語学科においては、学生募集を学内でフォローできる国からの学生に絞ることで学生フォローを手厚く行うことができる点を前面に押し出した募集活動を展開している。
	③今後学生募集を行う中で、今までとは異なる戦略や取り組みはあるか。 【学内委員による回答】これまでの学生募集においては、高校訪問やガイダンスといった対面による広報活動とホームページ等を活用したWEB戦略がそれぞれ独立して展開されていたが、現在は対面とWEBの双方における本校のイメージを合致させるよう進めている。これにより、志望する学生が一貫したイメージを受け取れるよう広報活動を展開している。

◆基準 8 財務

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3	2	4	3
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	3	2	4	3
8-3	財務について会計監査が適正に行われているか	3	2	4	3
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか	3	3	4	3.3

評価 学校 委員 関係 会 意 者 見	①学校の財務基盤は安定しており、予算収支計画は妥当なものになっているか。また、会計監査は適切に執り行われているか。
	【学内委員による回答】財務状況については学校単体での経常収支差額は黒字決算を維持しており、財務基盤は健全である。また、学内において不適切な経理や会計処理は一切行われておらず、適正な会計監査が機能している。法令順守に関しても、文部科学省や大阪府など監督官庁の要綱および指定規則等を順守し、適正な学校運営を行っている。

◆基準 9 法令等の順守

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
9-1	法令や各種関係規程を順守し、適正な運営がなされているか	3	2	3	2.6
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3	3	4	3.3
9-3	学校自己点検・評価および学校関係者評価を適正に実施し、教育の質保証向上につとめているか	3	3	4	3.3
9-4	学校自己点検・評価及び学校関係者評価結果を公表しているか	3	4	3	3.3

評価 学校 委員 関係 会 意 者 見	①学校ホームページ等において、学校法人が文部科学省から指摘を受けている運営上の問題について一切触れられておらず、情報公開の観点から学校の不透明性を感じてしまう。本校が学校法人と同じ名称を冠している以上、学校としての健全性はホームページ等を通じて発信するべきではないか。
	【学内委員による回答】いただいたご指摘を真摯に受け止め、適切に対応させていただく。

◆基準 10 社会貢献

項目名		委員 1	委員 2	委員 3	平均
10-1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3	4	4	3.6
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3	4	4	3.6

評価 学校 委員 関係 意見	①社会貢献の具体例は示されているが、地域貢献はどのようなことを行っているのか。 【学内委員による回答】地域貢献活動については、認可保育園に学校の施設を貸し出し地域の子育て支援を担っている。具体的な取り組みとして、認可保育園が地域のお子様と保護者が共に身体を動かすイベントを開催しているほか、園児が室内で身体を動かせる場所としている。 また、日本語学科においては、近隣の小学校で開催される夏祭りに学生ボランティアを募り運営のお手伝いを行うなど、地域への貢献を行っている。
----------------------------	---

◆全体の中での質疑応答や意見

評価 学校 委員 関係 意見	① 法人に関する報道を受け、学校名に法人名が冠されていることから、学校も法人と同様に受け止められる可能性があるとの意見があった。そのため、法人として適切な説明責任を果たすとともに、学校としても教育活動や学校運営の状況について、正確な情報を継続的に発信していくことが重要であるとの意見が示された。 ② 学校の教育活動や学生支援の状況について、積極的かつ分かりやすく情報発信を行うことで、学校への理解を深めてもらう取組が必要であるとの意見があった。 ③ 法人に関する報道を受け、学校の今後を心配する卒業生の声もあることが紹介された。また、少子化の進展により学生募集を取り巻く環境が厳しくなることを踏まえ、高校新卒者に加え、社会人など多様な層への募集強化を含め、中長期的な視点で学校運営を検討していくことが重要であるとの意見があった
----------------------------	--